

明治大学国際交流講演会「セルビアの旅：土地・言葉・人」

(講師：ベオグラード大学文学部大学院教授山崎佳代子先生)

2023 年 6 月 23 日

開催報告書

本日、リバティタワー1032 教室において、上記の国際交流会を開催しました。学内の学生、教員だけではなく、学外の研究者、出版関係者なども参加してくださいまして、参加者数は 60 名に達しました。

山崎佳代子先生は、セルビアの戦争の歴史を紹介して、一般市民の蒙った被害、大国に翻弄された小国の悲哀、世界に届けようとした声を抹殺された不条理などを通して、文学とは何か、紛争時代において、詩はどのような意味を持つかについて語ってくださいました。さらにご自著の『ドナウ、小さな水の旅』(2022 年)と『パンと野いちご』(2018)の一部分を朗読し、聴衆を魅了なさいました。

ご講演(100 分)が終わってから、質疑応答(20 分)の時間がありました。会場から質問とコメント(4 人)がありました。ご著書の詩の朗読を通して、質問にお返事されて、喝采を博しました。

講演会が終了してから、聴衆からは、大変感動した、素晴らしい企画だ、世界を見る目が開いた、著者と直にお会いできてよかった、と郭に言って来た人が十人ほどいました。

山崎佳代子先生の講演によって、明治大学の学生と研究者(主に文学部、理工学部)が海外の歴史と文化を学ぶことができたことは、非常に有意義なことだと思います。

郭南燕

(明治大学文学部文学科専任教授)